



親子でお読みください

令和5年度 1月号
さいたま市立中島小学校

1月の給食だより



家庭数



新しい年を迎え、もうすぐ1か月がたちます。本年も1年間、健康で毎日元気に過ごしたいですね。「1月
は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、この3か月間はいつも以上に時間が過ぎるのを早く感
じる時期です。給食室では、日々の1食 1食を大切にしながら給食を作っていきます。心を込めたおいし
い給食を作れるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1月22日（月）～26日（金）は、 中島小学校の給食週間です

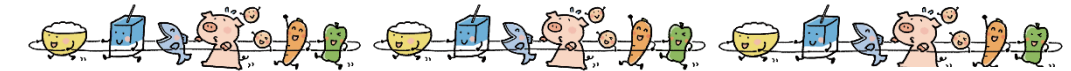
◎学校給食の始まり



学校給食の始まりは、明治22年（1889年）山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の市立忠愛小学校だといわ
れています。貧しくて、お弁当を持ってこれない子どものために、おにぎりと塩さけ、菜の漬物を出した
ことが、日本の学校給食の始まりとされています。

✿ 1月22日の「はじまりの給食」は、給食が始まった日を連想するような献立です ✿

◎学校給食のあゆみ

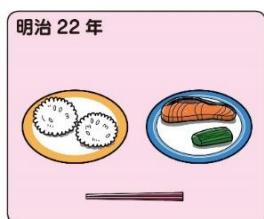


第二次世界大戦で給食は中断されていました。戦後の日本では、食べ物が不足し栄養失調の子どもがあち
らこちらにあふれていました。それを知った世界の国々は、スキムミルクや缶詰などを日本へ送ってくれま
した。それらの材料をもとに戦争中に中止されていた学校給食が一部の都市で再開され全国に広がって
いきました。学校給食は、栄養が不足がちだった多くの子どもたちを救いました。当時の気持ちを忘れないた
めに設けられたのが、全国学校給食週間です。

◎現在の給食



日本で学校給食が始まっておよそ130年がたちました。時代とともに「空腹を満たすための給食」から
「楽しむための給食」、さらに最近では「健康を考えた給食」へと役割が変わってきています。飽食の時代
といわれる現在、知らず知らずのうちに食べ物の大切さを見落としていないでしょうか。給食ができて
上がるまでには多くの人の苦勞があることを忘れずに、感謝して食べてもらいたいです。



明治22年

おにぎり、塩さけ、
菜の漬物



昭和20年

ミルク（脱脂粉乳）、
みそ汁



昭和27年

コッペパン、
ミルク（脱脂粉乳）、
鯨肉の竜田揚げ、
せんきゃべツ、ジャム



昭和40年

ソフトめんのカレーあん
かけ、牛乳、甘酢あえ、
果物（黄桃）、チーズ



現在

多種多様な献立

